



2022 年度北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部研修事業
日本語・日本語教育研修会 2022

演劇による文化的対話

—日本語学習を超えて—

2022 年 9 月 27 日（火） 9:00-12:00
北海道大学学生交流ステーション 316/209 教室 定員 35 名

9 月 15 日（木）までに以下よりお申込みください

<https://forms.gle/FAQfiqv5r7dvgSDC6>



研修会趣旨

文化芸術基本法では、「文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものである」（前文）と、理念が高く掲げられています。人々が文化芸術の場に参加する機会を通じて、多様な価値観を尊重し、他者との相互理解を進めることに文化芸術は大きな役割が期待されます。

近年、文化芸術の持つ自己表現、社会形成、社会包摂などの多面的価値が認識され、在留外国人を対象とした文化芸術活動が徐々に増えてきています。本研修会では2008年から外国人と日本人と一緒に演劇を創る「多文化共生プロジェクト」(岐阜県可児市)と、外国人を含む地域コミュニティづくりを目的とした演劇ワークショップ「にほんごであそぼう」(兵庫県小野市)を事例として取り上げ、演劇による文化的対話の観点で紹介します。さらに、演劇ワークショップを体験する場も用意していますので、ぜひお気軽にご参加ください。

プログラム

会場 316 教室

8:45 受付開始

9:00-9:45 関 鎮京 氏（北海道教育大学岩見沢校・准教授）講演

気持ちと対話する：岐阜県可児市文化創造センターala「多文化共生プロジェクト」を事例に

9:50-10:25 分 南田 明美 氏（静岡文化芸術大学・講師）講演

ピアと出会う：兵庫県小野市「にほんごであそぼう」を事例に

10分休憩（会場移動）

会場 209 教室

10:35-11:35 分 本田 千恵子 氏（兵庫県立ピッコロ劇団）ワークショップ

にほんごであそぼうで行っているワークを体験する

11:45-12:00 質疑応答

問い合わせ：平田 未季（北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部・准教授）

mihirata@oia.hokudai.ac.jp